

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ウイ(燕新)飯		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	( / )

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1791.33	イ <sup>1</sup> 2ヶとはいわん。	
1762.52	イ <sup>1</sup> <ネツ>に入れども	
2772.05	ine <古>	june
2795.01	june <新> <昔は何といふかめからぬ>	
3609.17	eje <古>	june
3688.82	iki (zubani: 発音)	iji
3722.90	igi(アガル) 174.2.27付北条氏 取信に記す ad	
3724.96	イ <sup>1</sup> イ〜エの中間音。	
3725.77	(2)イ <sup>1</sup> <1>的にたもとす Hon	
3727.81	イ <sup>1</sup> <1>的にたもとす Hon. 152 YUG(M)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 巾着(蒸気)(飯)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(2)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3733.73	ɕgi 多少鼻音列。イ子(アクセント)	
3734.42	(イ) 子 併用とみる Ho. (イ)とみる。(エ)とみる。 How. <sup>sat.</sup> How	
3741.16	eksi ɛは狭い e	
3746.41	ɿ 子 〔i〕的なものともみる How.	151 YUG[M]E IG[M]E 内容 ɿ 子
3757.32	ɿ 子 〔i〕的なものともみる How	152 YUG[M]E 内容 ɿ 子

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆい(蒸飯)(飯)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(3)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	B 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3760.58	lg'i jũnye とほ いわはう.	
3767.18	(1) lg'° 併用とみる Hon	
3774.44	(1) lg'° 〔i〕のたむのとみる Hon	
3781.49	lg'i (9)	jũnye
3783.08	zũnye 3はja序標の強いもの. eは狭いもの.	
3795.19	zũ° (特に意わはう)	
4609.25	jũye [新]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 巾着(蒸着) (飯)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(4)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4619.29	fegi (最初は jingi と回答であったが、左の如く言いたおした) > 不採 Hon	
4629.43	oegu < ex. ゴンンのオエキ >	
4638.22	iki iはこくわすかた。	
4643.47	juki < ふつと下時 勢よくある巾着という > 調査票 (nem 調) と見ると juki の語形は 153 の回答で正しいが、この注記はありは 152 のもなか (調査票にこの記入なし) or 152 のカト	
4659.75	egu > ex. 巾着. sat	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A) 普通注記	ページ
項目名 ゆい(蒸気) (飯)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(5)

地点番号	A) 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A) 在のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4663.06	iki } < 両方使用区別は、とりたくない > juge ( 1016 153 iki. 152 juge の 2 つ 2 つ は なにかと思う )	
4666.51	eki ( は 1016 juge x 云々. 2 は 訂正した ). ↳ 不採 Non	
4667.33	エギ. は 1016 エギ と 2 は 2 と 後 訂正した. ↳ 不採 Non.	
4676.52	[eki] 長男の言と被調査者も認めた.	
4694.26	eki < 2 は 2 用いいることが多い >	
4697.92	juge ( 共 )	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ウヅ(蒸気)(飯)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(6)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4705.20	$\frac{2}{1}$ ) ヲ ↳ [ju:] 的 な も の と なる Hon.	
4711.41	[eg̃i]	
4712.54	eg̃i <jumemudi とは言われない>	
4713.02	(j)eg̃i' (頭音は若干摩擦があることある。 汗から出るのはゴケ。口から吐くのは 1キとある)。 注記は採る可左補表記に依り ZYEG[ɣ]には ウヅ EG[ɣ] に含める。 Hon.	
4713.60	eg̃i (152と区別可)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 中丁(蒸餾) (飯)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(7)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4714.22	eki 〈お湯からかき取るのではないから 湯気(ユキ)か はたひ. 152とは違〉	
4716.72	kemo (煙の意)	jumye. egi
4721.36	[egi]	
4722.55	(jumye igi (152と区別する) 両者とも採 Non	
4724.28	eki (湯から立ちのぼる場合には使わない)	jumye
4724.75	jumye (152と同じ)	
4725.92	igi (eki/2.あって“黙”と同音) (152とは区別)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆけ(蒸釜)(飯)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(8)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4726.80	egt (152と区別がある)	
4732.18	eki <152の方はjujeである> jeje 疑内もあるか。三者とも採用 juje Non	
4734.56	egt <古>	jæje
4741.43	ikji [ikji, jūje]	
4741.92	egc <稀>	ɸjūje
4742.37	juje <煮えたがっているお釜から出ている場合> ikji <おはちにとこ。工めこうすうと豆ちのぼりていふた> (以上の区別は強いと内省させたものである)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ (9)
項目名 中打(蒸気)(飯)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4742.95	egɨ (152と区別がある)	
4743.44	egɨ <エフは水ものから出たエフの打>	
4743.61	egɨɨ <これはエフとは言わない>	
4744.32	egi (152と区別する)	
4745.27	kemo (煙の意)	
4746.20	eki (152と区別する)	
4753.76	eki } <本県の方言では蒸飯のから jɛɛne <新> } 出たものはエフ。御飯のものは (Fɛɛɛ. 3.かたじけなくTɛɛɛの音) から出たものはイキという>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ  (10)
項目名 中江(蒸餾)飯		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4760.98	éki: éは非常に強いe.	
4763.45	jî(α)eki L 併用のみ 152と統一処理 How. Sat L jîeki jîmiki ) α	
4773.77	egi <junye 又はwatan.>	
5527.89	eki <古> 工	junye
5538.63	ikiγj はいもの工々un訂正 L 不採 How	
5539.74	ikini <古>	junye

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 共通注記	ページ
項目名 町丁(蒸釜)(飯)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(1/)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5564.79	injiri 優美	jünye
5568.22	イキ <音>	zɣ'
5569.36	イキ (370)とは152と同じ)	
5574.42	igye <音>	jnye
5574.84	eye 優位	nye
5577.06	<音> イキ	zɣ'
5579.42	iki 25. of. 152. ihi <音>	
5579.79	イキ <zɣ'とは uɣtan>	
5588.78	イキ <zɣ'とは uɣtan>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 巾着(燕新) (飯)		[B 除いた共通語]	[C 除いた特殊語] (12)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5598.67	<巾> 巾	巾
5599.41	巾 <稀>	
5606.83	eki <多>	juge
5609.26	i:si 煎の方向から煎る。	
5611.39	? juge	
5611.81	iki <稀> 時々用いられる。	juge
5613.48	juge 煎か高いもの eki 煎か低いもの。	
5614.24	eki (jugeとは違ふ)	
5629.17	? 巾	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 巾着(蒸着)飯		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(13)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	B 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5632.83	eki (eki ~ iki)	juge
5635.48	イキ <少>	エケ
5635.65	イキ <共> <イキがタツ>	
5636.74	? エケ	
5639.47	? エケ	
5639.80	NR <何というかわからない。使ったことかはない> 被調査者の細君は「エケ」と答えた。	
5644.74	エケ(共)	
5645.89	イキ <エケトツイツイ>	
5646.71	イキ <ハラハラ・ハラハラ・エトツクツ>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( ) は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆけ(蒸)飯		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(V)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5653.08	?ek:	
5653.60	juge?	
5654.94	イキ <多>	エフ
5654.98	[エフ] <エカラ アカルテイイカラ エカイテワツ ヒカテイカラ イアテワツ。NR (横川町まで来て聞いた) 注記にilcut Hou Sat. NR	
5654.94	イキ <多>	エフ
5655.57	エフ <エフとほいあたん>	
5659.73	<エカラテイ> <エフとほいあたん イアテワツ>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆ汁(蒸魚)飯		(B 除いた共通語)	(1/5)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5657.77	ゆ. <J.ホ)ニテル>	
5665.46	ゆ< <2)トツエツテイ>	
5666.18	ゆ< <共> <(2)エツトツエツテイ>	
5667.81	ゆ< <多>	ゆ.
5669.12	eki <共>	Füge
5671.94	iki (juge 証王(2) L 不採 How	
5674.59	イキ	エツ
5676.84	エツ< <多> <3>	
5677.27	エツ< <多.普通> <エハン)エツ<ガ)ニテル> <4>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ (16)
項目名 ゆげ (蒸気) (飯)		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5678.71	kemu ヌケとはいわない	
5679.86	tje (蒸)eki (kemuとはいわない)	
5682.72	ʔjue	
5685.02	〈?〉 [jɯ'ge]	
5685.37	「kemu 〈?〉	
5688.37	ユケ 別のことは覚えていたらしい。が12 そのことはあったらしい。被調査者が 失念したらしい。が三者(家族の人)に そのことは何となくおぼろげに聞かされた。	
5688.74	iki <iki ya ayaari>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 巾着(蒸気)(飯)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(17)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5690.96	jʉye (系L2) <ヤ、ハ、jʉye T>	
5692.53	?jʉye	
5695.47	iʉki <昔>	jʉye
5696.13	ʉa <こぼれからゴヤかぬるこぼれはウチタン>	
5696.68	iki <古>	
5697.53	iʉki <こぼれ物の時にはこういう>	jʉye
5698.91	iki 赤飯こぼれとこぼれ。餅飯を煮て蒸気が入る あかむらぎ ʉiʉkiga aʉyaruという。はな うちは jʉye 2. 2かT、Tとアと という。 <del>Li</del>	jʉye.

▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。

▶ その中ででの情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の< > ( ) ( ) は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ (18)
項目名 揚げ(蒸身)(飯)		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	(A) 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	(A) 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5703.68	uki 和詞にすると uki ayanu	
5703.70	egi < jmye ということかたない >	
5711.85	(jmye : 152に同じ。 ([e.ki] 和者とも採	
5712.70	NR kemu.	
5723.60	jmye < egi もまことかある]	
5761.27	? hōtori (中丁は高木といふから、hōtori- -ya ayanu といふかたも終った)。	
5761.91	kemu (語) egi の不採 How.	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 巾着(燕角)飯		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(19)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5782.79	kebu (はらのは jinge へいへい) へいへい	
5791.07	kemo <多>	jinze
5792.78	eye <昔>	
6267.84	jinze... へいへい	
6287.71	?hoke	
6339.86	いり <古>	
6349.09	jinze ) 両者とも採 How hoke	
6369.37	いり (かたし)	
	いり (かたし)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆけ(蒸気)(飯)		(B 除いた共通語)	(20)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6383.77	hoke <海から注つのはkaykamarikといふ>	
6394.78	ホケリ <古>	エケ
6396.62	!ホケリ <あまり熱くないもあといふ>	エケ
6409.72	ホケ <古>	エケ
6410.45	ホケリ <少>	イケ
6411.66	? イケ	
6415.78	hose (9)	hoke
6417.85	ホケ カトカタないた肉..念のこる。 49年3月8日. 回答受とり。(Hon)	
6418.75	エケ <暖い気候の時にとつ>. イケ <寒い時にとつ>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆけ(蒸釜)飯		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(2/)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 在のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6419.09	ボケ 〈古〉	
6419.25	ボケ 〈クマテ(強心)区別セエト 2ヨウラ 物のウ出ルカ ボケ マアリ 水ヤ湯カウ 出ルカ 2ケマアル〉	
6421.26	ボケリ 〈古〉	行
6423.75	hoke ) (最初は2ケと答えたかズパカボケと juge ) 言ふたかと同・下らボケと多く用いざと 答えた。 注記を検討して結果採用となる How	
6424.89	hoke 頭から出るものボケ	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ 中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕( )は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆげ(蒸気)(飯)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(22)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6426.47	NR (jarge とは言わない)	
6428.13	ホク <古>	
6428.26	ホク <古>	エウ
6436.60	ホク <普>	エウ
6438.33	エウ <蒸したイモからあがるのをホクと言う>	
6444.89	ホク <炊き出る場合>	エウ イキリ
6448.61	イウ <古>	
6454.24	ホク <普通>	エウ
6458.40	エウ <152と同じこと>	?
6464.23	イキ (〜がその現象をエウしている) ?エウ	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 巾着(蒸気)(飯)		〔B 除いた共通語〕	(23)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6464.90	巾着 〈左〉	巾着
6467.73	jugé @ hoke < 孫原氏は巾着(口から出る)は hoke というといふ >	
6470.59	↑ 巾着 (少い) ↓ 巾着 (多い)	
6471.59	巾着 (蒸気釜のふくむ野にいう)	巾着
6472.05	iki < ? >	
6476.92	巾着 (筒着とせ、手に折る巾着のことと暗示、はじめ2思ひかした)	巾着
6476.93	巾着 巾着が折れ、湯気が立つてくるの意	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 154	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 巾巾(蒸気)(飯)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(24)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6479.51	ige ~ iye 152も統一処理。	ige
6481.56	ホフ <ホフともいう。又タイとも表わす時にいうのがある。エフ エフの。ホフがフコルといふは、フコルである。>	
6482.52	juge <蒸。エフはかり甘藷かう譯、エフのは hokeという>	
6485.14	<古> ホフ	
6485.30	ホフ <ホフがフコル。ホフシカケル。(息の ホフと吹きかけること)などという>	
6486.07	エフ ) 団体のあつてもから立つものはホフであるという ホフ ) 注記内容によれば、問題も有りか。結論は 両者とも採。Hon.	

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 巾着(蒸籠)(飯)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(25-)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6486.93	ホケ 〈4〉	24
6491.49	hoke < judge といふ。冬には見えず呼称は judge hokeji o kareru といふ。〉	
6492.11	hoke < hoke ga taito ru〉	
6492.50	judge < 冬池水面から立ち上るや呼称は いふとホケイ〉	
	hoke < taita sakama ja gohar nanka kara nowa hoke to juu koto ga o i〉	
6494.55	24 < この時には 蒸籠といふ。〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ (26)
項目名 巾着(蒸着)飯		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6497.90	holce <古>	juŋe
6505.58	いぐ<稀>	ɯŋ
6508.36	いぎ<稀>	ɯŋ°
6509.43	いぎ <こはんの野のみ使う>	ɯŋ°
6513.24	juŋze <特製の及ばないか. juŋze kō u>>と いう答はなし (たは juŋze kō にある)	juŋze
6514.38	ige <推肥 ならからムと主として<蒸着>ikiと>	
6518.87	ɯŋ <いぎとは言わない>	
6519.43	いぎ ) (両者の区別は152に記述した) ɯŋ	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆげ(蒸着)(飯)		〔B 除いた共通語〕	(27)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6521.20	yuge < hoke は汗が <sup>ち</sup> ちのほ-るぢぢえいう >	
6522.03	2ㄥ(ㄗ)	
6522.79	2ㄥ(ㄗ)	
6524.66	iye (152.153 は yuge } 2. 区別ある iye というのが疑わしい。同席の被調査者の妻も疑わ	
6527.73	NR < 152 とは違ふが何というの思い合せなり >	
6529.63	? yuge ) 両者とも採 Hon iki	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆけ(蒸気)(飯)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(28)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1529.77	juge) 両者と同様 Hon. iki)	
6530.23	ㄥㄥ' <口の出口が白く見えるものをホケという>	
6542.71	juge ㄥㄥ'	
6544.69	ije [juge] - 左欄故採用 Hon.	
6551.20	ㄥㄥ' (ㄥ)	ㄥㄥ'
6551.77	ije (音)	
6552.90	ije: . jujje: <152と153との区別は無い>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は縦密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆげ(蒸気)飯		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(29)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6553.22	ige (152.153は区別がない)	
6557.36	[i <sup>h</sup> ye]	
6562.22	[ɣɯɣ] (被調査はついに思い出せず、和書が答えた) 書の内容を証者が否定したから、と認めて 採用 Hon.	
6571.34	juɣe: (152と153とは区別がない)	
6572.04	ige (152と153との区別はない)	
6572.29	juɣe (152と153との区別はない)	
6572.55	ige ⊕ juɣe	
6573.71	iŋe (ア70とは「イ」にあり)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ (30)
項目名 ゆけ(蒸気)(飯)		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6574.52	ije: (152と153の区別はない)	
6575.82	juge* (★は半長音記号)	
6580.06	い <sup>o</sup> <古>	い <sup>o</sup>
6581.68	い <sup>u</sup>	い <sup>u</sup>
6583.45	ije 152と153と区別なし。	
6591.81	い <sup>o</sup> <稀> (老人が用いる)	い <sup>o</sup>
6592.35	ije (152と153と区別なし)	
6595.90	ije <古>	juge
6607.68	juge<?>	
6608.22	い <sup>u</sup> <(飯)飯からい <sup>u</sup> にいくとい <sup>u</sup> はpyか <sup>o</sup> とい <sup>u</sup> は??い <sup>u</sup> はい <sup>u</sup> はい <sup>u</sup> >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 巾巾(蒸弁)飯		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(3/1)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6611.68	juge ) 両者とも採 Hon [hoe]	
6613.77	いき <古>	2ヶ
6615.02	いき <古>	2ヶ
6616.22	-kemu < [ju'ge] とは意味なし >	
6621.34	? iki	
6625.66	Iki < 赤飯の時巾巾 >	kemu
6626.30	NR ju'ge とは 何かし。	
6630.58	hoye <古> < 現在では 23歳以上の老人にのみ限り。iki 使わな<タ>た >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 巾着(蒸糸)飯		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(32)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6631.60	hoye 巾着. 蒸糸飯の時Tiki(152)と いって. hoyeとはいわない.	
6632.60	iki 被調査者の答え.	
6635.54	jūge [男]	Tiki
6640.34	? juze) 両者とも採 Hon. iki	
6641.39	Tiki 新.	hoye
6650.79	jūge — 併列せよ Hon	iki
6652.06	Tiki 男	jūge
6655.97	Tiki 巾着の時Tiki(巾着蒸糸飯の時) (巾着蒸糸飯の時)	jūge

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中ででの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項・目名 ゆけ(蒸餾)飯		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(33)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6657.96	juje <〜と書くことある> 稀とみれば併用か How.	ke'mu ri
6665.25	Tiki <3.かすことだけ—ちよ米飯と>	juje
6677.70	ki'mu <昔の年寄>	ke'mu
6698.20	hoje <この場合は juje とは言われない>	
6702.21	この94以下ことばなし. juje 2-15 うとたい.	
6730.33	juje [ke'mu] [稀] [注記補故不採]	
7218.26	ho'ke <煙のこに中使う>	
7249.35	ホク <この場合 エケは使わぬ>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( ) ( ) は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆけ(蒸気)(飯)		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(3/)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7258.64	ホク?	
7259.22	hoke <寒いときの白い息も hoke といふ>	
7279.01	マツホク ~ といふ。寒い時、口から出るホク ホク ACUBOKE の見出しから採られた語からこの語採用か How.	
7303.29	<u>hokeri</u>	
7320.95	hoke (少量の時) juget (多量の時) e.v. 記号 分布から How.	
7325.57	hoke [おんつくと、あかほホク] 同席、被調査者の書き紙の浮紙	juje

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	① 普通注記	ページ
項目名 ゆけ (燕身) (飯)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(35)

地点番号	① 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	② A 在のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7325.84	i'k <sub>i</sub> <稀>	hōk <sub>e</sub>
7334.44	hōk <sub>e</sub> <古>	ju'g <sub>e</sub>
7334.78	i'k <sub>i</sub> <伊方か-はけい。>	hōk <sub>e</sub>
7335.93	hōk <sub>e</sub> (区別明らかならず) i'k <sub>i</sub>	
7336.28	hōk <sub>e</sub> <火から下した場合に言う> (?)	ige
7338.48	ju'g <sub>e</sub> <口から出るの口 hōk <sub>e</sub> へある。>	
7339.27	ju'g <sub>e</sub> <寒い時呼身は hōk <sub>e</sub> へ。>	
7341.42	ゆけ hōk <sub>e</sub> <152a 24 とは区別ある>	
7344.30	hōk <sub>e</sub> <稀>	ige

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ 其中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A) 普通注記	ページ
項目名 中川(蒸気)飯		〔B〕 除いた共通語	
		〔C〕 除いた特殊語	(36)

地点番号	A) 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A) 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7343.76	juge 風呂上りの体からのほろもの hoke といふ	
7345.47	hoke <地獄...温泉...の湯気と hoke といふ人もある>	
7346.54	hoke <古>	juge
7346.63	hoke <稀>	juge
7352.14	* 江戸) 両君とも採 Hon ↓ 江戸)	
7352.61	ホウ (江戸とは uwan)	
7353.19	ikji <〜がク>	
7354.23	ホウ <江戸のたろ方の弱いもの>	江戸
7355.48	hoke <上>	ig,erji

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆげ(蒸気)(飯)		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(37)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7355.81	hoke <稀>	ige
7357.64	[hoke] <然り 又吐息にもいう>	juge
7357.69	hoke <稀>	ige
7363.85	ホケ } <用語に区別なし> エケ }	
7364.34	イキ <いつか古くからいつているか? 今の ホケ 方が普通>	
7366.14	?ige	hoke
7367.49	hoke <古>	juge
7372.96	ホケ <エケは用いず>	ホケ

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔〕は厳密化する。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ
項目名 ゆげ(蒸餾)(飯)			(38)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7376.15	<?> ㄱ <ホケというかも知れない> [甲] [ホケ] 両者とも採 How	
7377.27	ju'ge <ㄱがらま> ho'ke <ホケがらま> <この場合は、ホケがらまである。冬寒の日、 口から出る息もホケと言う>	
7382.01	ho'ke <古> 海から上る気 ho'ke 息が白いのも ho'ke	ju'ge
7383.83	ホケ ) 両者とも採 How. ? <[ㄱ]>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。  
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。  
 ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 中村(蒸気)(飯)		〔B 除いた共通語〕	(39)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7385.38	joge ) 〈同程度に使う〉 hoke	
7401.11	juge 〈呼称はhokej:という〉	
7401.92	hono (武智正人「奥嶺の方言」には奥山とあり、 全県下に用いられるhokeは、松山にあると 記されている。)	
7407.24	hoke 〈古い言い方〉	
7410.57	hono(?) (念押ししてみたら、他の言い方は、出た から、調査者は、いまだに、この形が 答にあらうたことはいい。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (40)
項目名 中江(蒸釜)飯			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7421.62	juge < 呼氣の白く見えるのは hoke という >	
7430.15	hoke < 寒い時、呼氣が白く見えるのは hoke という >	
7436.68	※ hoke はひめはエケと言いか下下はうたふ。	
7440.69	hoke < 冬の寒い時の呼氣 hoke という >	
7440.72	juge < 寒い時の呼氣は hoke >	
7460.30	hoke < 多 >	
7502.91	いけ < 古 >	エケ
7510.18	いけ < 古、土地の発音 >	エケ
7533.12	いけ < 古 >	エケ
7659.40	juge < 古 >	juburi

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆけ(蒸釜) (飯)		(B 除いた共通語)	(4/)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8300.11	ホオケ <煙突のふりこホオケという>	ユケ
8325.56	juge <多> hoke <～は152の場合には使わない>	
8332.84	hoke <古>	juge
8334.25	hoke <旧幣の...方>	
8334.63	juge <現在ではこの方が多<使>>	hoke
8342.69	hoke <多> <息)>	juge
8352.92	hoke 息 14663のは juge	
8353.68	hoke <この場合ではユケと言わない>	
8355.23	!hoke <多>	juge

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で得る情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 中丁(蒸身)飯		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(42)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
9322.52	hoke (kは軽くにこる)	
0247.31	juge <新>	
0249.17	akki <稀>	i'fi
0275.97	asiki <古>	
1241.96	fu:ki: <多>	at'fiki:
2068.08	NR 煙はkiφust	
2075.22	φuki (?) (沸騰する意か)	
2076.96	φuki [kiφuεε3] 不採 How.	
2085.69	kibufi <?>	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 巾着(蒸着)飯		〔B〕 除いた共通語	
		〔C〕 除いた特殊語	( / )

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4588.98	jɯje <新>	eki
4696.82	juje (共)	eki
4725.68	juje <共> <新>	(z)egi
4743.44	juje	egi <エジは水の中の水を 12時の水に>
4771.58	juje (新)	egi
4784.41	(egi) ( )故 cut Hon.	juje
5549.55	juje <新>	ekiri
5568.57	エジ <共、新>	イキ.
5578.27	エジ <共>	イキ.

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆげ(蒸気)(飯)		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(2)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5589.30	<共> エギ	イキ
5597.26	<共> エギ	イキ
5599.41	エギ<共> 併用しないか? Sat	
5615.20	juze	eki
5652.06	juze<新>	iki
5666.85	エギ<新>	イキ
5695.10	エギ<共>	イキ
5696.68	juze<新> (トコは iki o nuke (na 換下)のようには)	iki<共>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( )は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 巾着(蒸着) (飯)		B 除いた共通語	(3)
		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5792.78	juze <今>	eye <昔>
6348.71	エフ <新>	ホフ
6418.13	エフ <稀>	ホフ
6419.09	エフ <今>	ホフ <古>
6428.13	エフ <今>	ホフ <古>
6429.61	エフ <稀>	ホフ
6437.07	エフ <稀>	ホフ
6448.61	エフ <新>	イフ <古>
6452.73	折ホフ <ガラス窓に息を吹くだけ>	ホフ

↳ 調査者の電話に合わせた結果訂正. 74.3.6

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( )は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 巾着(蒸身)(飯)		(B) 除いた共通語	(4)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6475.07	ホヤ <いもの時>	エヤ
6476.17	ホヤ <呼吸を3.3か1.3時のものをいいう>	エヤ
6485.14	<新.英> エヤ. (呼吸はヤキに2.2の場合 ホヤが9.9に1.1をいいう)	<古> ホヤ
6487.66	ホヤ <人間の呼吸から立つものは、ホヤをいいう>	エヤ
6507.72	<英> エヤ	イヤ
6516.10	<英> エヤ	イヤ
6517.77	<英> エヤ	イヤ
6528.64	2. juize <英>	u. ije
6529.15	<英> エヤ	イヤ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆげ(蒸身)飯		〔B〕 除いた共通語	(5)
		〔C〕 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6551.77	juze<新> (152と153と区別なし)	ige<昔>
6567.79	juze<今>	ize<昔>
6580.23	24<共>	い
6581.52	24<共>	い
6582.73	24<共>	い
6603.24	24<共>	い
6604.98	24<共>	い
6613.97	juze<新>	iki
6623.28	24<共, 工>	い
6631.69	juze 工	hoze

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆげ(蒸気)(飯)		(B) 除いた共通語	
		(C) 除いた特殊語	(6)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6632.64	hoge 「 <u>う</u> は. と <u>う</u> たは hoge<い>.	iki 被調査名の替
6641.97	juge 稀	iki
6642.58	juge 少	iki
6645.62	juge <稀>	iki
6697.59	juge <新>	kemu
7322.17	(hoke) (~と <u>う</u> 人がある)	yuge
7322.81	(ho no ke) (~と <u>は</u> うわと <u>う</u> )	juge
7323.17	(hoke) (口から <u>出</u> る <u>あ</u> のみ <u>に</u> い)	juge
7326.69	juge <新>	ho'ke
7347.55	juge <新>	ho'ke

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆげ(蕎麦) (飯)		〔B〕 除いた共通語	
		〔C〕 除いた特殊語	(7)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7350.21	ユゲ <新>	ホケ hoke
7353.51	ユゲ (極め稀)	ホケ
7361.17	ユゲ <英. 新>	ホケ
7367.25	jūge <新>	hoke
7390.26	ユゲ (稀)	ホケ
7404.56	juge <上>	hoke
7407.24	juge <新しい意. 方>	hoke <古い意. 方>
7415.85	jū-ge <英>	hoke
7460.30	juge <英>	hoke <多>
7511.66	ユゲ <英>	イゲ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 153	地図番号 267	A 普通注記	ページ
項目名 ゆげ(蒸身)(飯)		(B) 除いた共通語	(8)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7521.79	24° <新>	4°
8310.87	juge <新>	hoke
8334.25	juge <新>	hoke <標準的な方>
0275.97	juge <新>	asiki〔 〕 <del>juge &lt;新&gt;</del>